

2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

女子準決勝 ラビッツ 34 v s 14 川井

【1Q】

川井ボールで試合がスタート。立ち上がりは緊張からか、両チームなかなか得点できない。2分近く経過したところで、川井#5 のジャンプシュートで初得点を上げる。

ラビッツも#12 がジャンプシュートを決め返しすぐさま同点にすると、厳しい DF からボールを奪い連続億点を上げる。1Q はラビッツが積極的な DF から得点を重ね、リードを広げた。ラビッツ 11-2 川井

【2Q】

川井は DF を頑張る我慢の展開。OF では#7 を中心に得点を重ね、ジワジワと追い上げる。しかし、ラビッツもフリースローで得点を重ねると、1Q 同様 DF から速攻が決まりリードを広げて 2Q 終了。

DF から流れをつかんだラビッツがリードを広げ、前半を折り返した。ラビッツ 19-7 川井

【3Q】

後半に入ると両チームとも堅い DF でなかなか得点が決まらない。3 分が経過したところでラビッツ#7 がゴール下シュートを決め、試合が動き出す。川井#9 がフリースローを決めて点差を縮めるも、ラビッツはこの Q も DF から速攻を決めてリードを守る。ラビッツ 26-14 川井とし、勝負は最終 Q を残すのみとなった。

【4Q】

川井は果敢にゴールを狙うが、ラビッツの DF が川井を圧倒する。ラビッツ#4 のロングシュートが決まり、積極的な DF から速攻が決まると、川井はタイムアウト。その後もラビッツの DF が機能し、川井は得点を上げることができずに試合終了。お互い素晴らしい DF だったが、DF から得点を上げたラビッツが決勝に駒を進めた。

ラビッツ 34-14 川井



2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

女子準決勝 川上北 64 v s 35 山内

【1Q】

山内ボールでスタート、序盤山内は川上北 DF に苦しみゴールを決める事が出来ない。
一方、川上北は#4 のアイソレーションから、ドライブ⇒ジャンプショットやフローターにより得点を重ねていく。山内も終盤#10 のポストプレイや#6 のミドルシュートで得点するが、終始、川上北#4 のボールコントロールにより、川上北ペースで1Q 終了。

川上北10－3山内

【2Q】

川上北ボールスタート、川上北は#5 の高さを生かしたローポストプレイで確実に得点を重ねる。山内は何とか阻止しようとフルフロントで DF をするが、川上北#7 と#5 の連携により更に得点差を広げる。山内は#4、#5、#12 による1対1の OF で、ドライブ、ジャンプショットにより得点をしていく。

しかし、川上北#5 のポストプレイにより、確実に得点を重ねていった川上北ペースで2Q 終了。

川上北28－13山内

【3Q】

川上北ボールスタート、後半も先制したのは川上北#10 のリバウンドシュート。一方山内は早い段階で得点差を縮めたく、果敢に#4、#5 のドライブや#6 のミドルシュートで攻めるが、川上北の高さのプレッシャーがきつくシュートが決まらない。川上北は#4 の個人技、#5 のポストプレイにより得点差を広げる。高さに勝る川上北がリバウンドを制しリードを広げ3Q 終了。

川上北46－19山内

【4Q】

山内は#4、#11 ドライブイン、#6 ミドルシュート、フローターにより4連続ゴールにより追い上げる。しかし川上北#4 は慌てずゲームコントロールをし、確実性の高い#5のポストプレイで得点をしていく。

終盤、山内#6、#7 ミドルシュートにより得点を重ねるが、川上北ペースの流れは変わらなかった。#4 の個人技、#5 のポストプレイ、#10 のリバウンドにより得点を重ねリードを広げた所で試合終了。

川上北64－35山内

川上北の高さを有利にした試合展開を進めた事が、勝利につながった



2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

女子決勝 ラビッツ10 v s 51 川上北

【1Q】

川上北ボールで試合がスタート。最初の得点は、川上北#10のゴール下シュート。#4と#10のスクリーンプレーで果敢にゴールを狙う。一方ラビッツは#4がゲームをコントロールしながら、ロング、ミドル、ドライブインとシュートを狙うが、なかなか得点に結びつかない。川上北は#4のナイスパスを受けた#10がゴール下シュートを次々と決め、点差を広げる。0対12。川上北リードで1Q終了。

【2Q】

ラビッツはボールをよく回してチャンスを作り出し、#9と#8の積極的なドライブで、シュートを決める。川上北は、#7が自らシュートを狙いながらも#5へボールを集め、ゴール下シュートで点を重ねる。苦しい状況の中、ラビッツはナイスディフェンスで流れをつかみかけるが、チャンスを生かしきれず、得点が止まる。4対25で2Q終了。

【3Q】

ディフェンスを頑張るラビッツ。パスカットから#9がミドルシュートを決め、後半、良いスタートを切る。しかし、川上北のゴール下は強かった。#5のリバウンドシュート、ミドルシュート、#10のゴール下シュートと、得点が止まらない。6対37。川上北が点差を広げ、3Q終了。

【4Q】

ラビッツボールで4Qがスタート。ラビッツはコートを広く使い、カッティングでディフェンスを動かして、ゴール下や逆サイドにチャンスを作り出す。川上北は#5、#10がゴール下で力を見せつけ、点差をさらに広げていく。しかし、ラビッツは精一杯戦い、#8がナイスパスカット、ゴール下シュートと意地を見せた。最後はラビッツ#9のロングシュートで試合終了。10対51。川上北が圧倒的な強さを見せた決勝となった。



2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

男子準決勝 西柴 29 v s 39 東希望が丘

【1Q】

西柴ボールで試合がスタート。#4の強いドライブで得点を狙うも東希望が丘の激しいディフェンスに中々攻めきれず一方、東希望が丘は、#4のドライブ、#10、#11を中心に得点を重ねて行く。

残り3分西柴もディフェンスの頑張りから#4、#6が得点で反撃するが、9対15東希望が丘リードで1Q終了

【2Q】

1Q同様、両者硬いディフェンスで、得点が動かない時間が続くが、残り4分を切ったところで東希望が丘#6、#7が連続得点で徐々に引き離していく。

ここで西柴たまらずタイムアウト。

その後、西柴#11のドライブで得点、流れが変わるかと思われたが、東希望が丘がディフェンスからペースを掴みさらにリードを広げて11対23で2Q終了

【3Q】

両者共にディフェンスの粘りを見せて一進一退の攻防が続く、そんな中、東希望が丘#4、#5の見事なピック&ロールで得点、一方、西柴も#4、#6のドライブ、#7のジャンプシュートを決めて反撃に入り、このQは両者互角の戦いが続き20対29で3Q終了

【4Q】

開始早々両者共にドライブで積極的にゴールに向かう。

しかし東希望が丘のリズムが良くなり徐々にパスが回り始める。一方、西柴も#5のペネトレートから#4へのアシストで加点、中盤から西柴の追い上げムードとならされたが、東希望が丘のディフェンスを前に苦しい展開になり、残り2分西柴はタイムアウト。ここで流れを変え粘りを見せたが、29対39で東希望が丘が勝利をつかんだ。最後まで諦めず粘り強い攻防を続けた西柴の選手の健闘を称えたい。



2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

男子準決勝 汐見台 29 v s 57 川上北

【1Q】

川上北 #4 のミドルで先制。汐見台は 5 人でボールを運ぼうとするが、川上北のマンツーマンプレスにあい、思うようにオフェンスができない。

川上北はリバウンド、ルーズボールも支配して、汐見台を圧倒。22-5 と 17 点差をつけた。

【2Q】

川上北は開始早々、#7 がドライブを決め、差を広げにかかる。一方、汐見台はボールを回しチャンスをつかおう。#6 のドライブやロングパスからの速攻も決まり、少しずつ差を詰める。#6 のバスカンで 14 点差になるが、川上北は #7 が連続でドライブを決め、31-13。川上北、18 点のリードで前半を終える。

【3Q】

川上北は #10 がミドル、リバウンドシュートと連続で決める。対する汐見台も #4 がドライブを決め追いかける。しかし、川上北は激しいディフェンスからのアーリーオフェンスを次々と決め、汐見台にリズムを作させない。

43-19 と 24 点差をつけ最終クォーターへ。

【4Q】

汐見台は #4 を中心に反撃に出るが、川上北のディフェンスを崩せない。川上北はアーリー、ドライブ、ミドルと効果的に得点を重ねる。汐見台も #7 がミドルを決め追いかけるが、57-29 で川上北が決勝に進んだ。



2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

男子決勝 東希望が丘 41 v s 40 川上北

【1Q】

先取点は川上北。#4がミドルシュートを決める。東希望が丘は#4のドリブルコントロールからのドライブ、フリースロー等で得点する。川上北は#4のレイアップ、ダブルチームのディフェンスからボールを奪いシュート、#10の外のシュート等で8点得点する。東希は1対1のディフェンスでドリブルチェックからボールを奪い#4がシュートや、リバウンドから一気にレイアップまで行き、9得点。9-8で東希リード。

【2Q】

東希ボールで始まる。東希は#5の外角シュート、#15のリバウンドシュート、#6のスクープシュートで得点。川北は#5→#7→#8のスクリーンプレイを利用して#8が得点。#12も#13からのナイスパスから速攻を決める。15-12で東希リード。両チームとも上手なドリブルワーク、ステップ等でシュートまで持っていく。川北は#5のステップバックからのシュート、タイミングの良い#5から#7のフラッシュへのパスからのシュート等で16点目をあげる。お互いノータイムになってからタイムアウトを取るが、惜しくも得点ならず。15-16で川北が1点リードで前半終了。

【3Q】

川北ボールから。#4がウィークサイドドライブで18点目。#5の外角シュート、#4の巧みなビハインドザバックで1対1を崩しながらのドライブで加点。一方東希は#4と#5の2対2からタイミングをずらしての#5のシュート、速いパスからの#6の外角のシュート等で加点。東希23点、川北24点。東希の#7はドリブル1対1での鋭いディフェンス時の読みによってボールを奪い得点。#7の速いカッティングへの合わせで32点目を得点する。川北は#4のジャンプシュートや#9のフラッシュから#7への合わせ等で32点目を得点する。両チームともシュートミスが少なく得点を重ね、32-32の同点で3Q終了。

【4Q】

始めから両チームとも気迫のこもったルーズボールでの争いをする。東希は1対1のディフェンスでの読みが素晴らしく、ボールを奪うことからシュートまで持っていく。川北も上手いスクリーンプレイで#4が起点となり、#7や#5が得点する。両チームともディフェンスが厳しくなり、シュートミスを呼ぶ。残り2分半、35対37で、川北2点リード。東希は激しいディフェンスからボールを奪い、#5が得点を重ねる。残り54秒、39対37で2点リードされている川北がタイムアウトを取る。東希ボールから再開。東希は外でボールを30秒ぎりぎりまでコントロールし、#4がシュートを決め41対37とする。川北は残り13秒で#7がオフェンスリバウンドを懸命に取りカウントし、ファウルを受けワンスロー決めて40点と1点差に詰め寄るが、その後東希にボールコントロールされてタイムアップ。41対40で東希望が丘が勝利する。両チームとも厳しいディフェンスと正確なシュート力を見せ合った試合内容であった。

2016横浜市ミニバスケットボール連盟 第40回春季大会 戦評

